



DNW-26022 の概要

課題名：シナプスコネクター治療による緑内障患者の視覚機能回復法の検証

主任研究者 (Principal Investigator)：

柚崎 通介 (学校法人慶應義塾 慶應義塾大学 ヒト生物学・微生物叢・量子計算研究センター)

ステージ：検証ステージ I

【標的疾患】

緑内障

【創薬標的】

網膜神経節細胞の興奮性シナプス

【創薬コンセプト】

視覚障害を有する緑内障患者において、網膜神経節細胞の一部は残存していることが知られている。本研究では、患者網膜内に人工シナプスコネクターを送達し、残存する網膜神経節細胞において、主に双極細胞と網膜神経節細胞間の興奮性シナプス形成を促進することにより、視覚機能の回復を図る。

【モダリティの設定】

遺伝子治療

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI により明らかにされている。

- 1) 網膜神経節細胞の興奮性シナプスを創薬標的とする人工シナプスコネクターを見出している。
- 2) 人工シナプスコネクターは、緑内障モデルマウスにおける視機能低下を抑制することが示されている。

【支援ステージにおける目標】

人工シナプスコネクターを眼内の標的部位へ安定的かつ効率的に送達するため、遺伝子送達技術を最適化する。

【関連特許】

関連特許出願あり

テーマに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

Principal investigator へのお問い合わせはご遠慮くださるようお願いいたします。

(問合せ先)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬事業部

E-mail : id3desk@amed.go.jp